



2023年3月17日

各 位

会 社 名 芦森工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 鷺根 成行
(コード：3526, 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役経営管理部門統括 鳥山 秀一
(TEL 06 - 6105 - 1861)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月12日に、プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。

2022年12月末日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移および計画期間

当社の2022年12月末日時点におけるプライム市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」および「1日平均売買代金」については基準を充たしておりません。

引き続き現行の中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の取組みを進めることにより、2025年3月末までの上場維持基準適合を目指してまいります。

なお、流通株式時価総額の状況については、当社が試算した数値を基に適合状況を判定しておりますので、3月末の算出基準日の数値を確認後に改めて開示いたします。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の 適合状況 及び その推移	2021年6月末日時点 ※1	36,776 単位	38.5 億円	60.7%	0.18 億円
	2022年12月末日時点 ※2	36,999 単位	41.6 億円	61.1%	0.13 億円
上場維持基準		20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
計画書に記載の項目			○		○
計画期間			2025年3月末		2024年12月末 ※3

※1 東京証券取引所が移行基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 1日平均売買代金は東京証券取引所が基準日時点で把握している売買代金です。

その他の項目は、2022年9月末日時点の株券等の分布状況等をもとに当社が試算したものです。

流通株式時価総額は流通株式数に2022年10月から12月の日々の株価の終値の平均価格1124.7円を乗じて算出しております。

※3 東京証券取引所が毎年12月末日以前1年間における東京証券取引所の売買立会での金額を日次平均にした値を審査するため、計画期間を2025年3月末から変更しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、全社戦略として以下の取組みを行うことにより、中期経営計画にて設定した数値目標達成に取り組んでおります。

(1) 全社戦略

①新たな成長軌道への挑戦

- ・成長市場である自動車と管路更生分野への経営資源の集中
- ・新商品の展開と新規顧客・新市場への販売強化

具体的な取組み

自動車安全部品事業においては、豊田合成株式会社との資本業務提携を一層深化させるとともに、固定費削減、経費削減などの施策を進め、収益改善に取り組んでおります。機能製品事業においては、一層の収益力向上のため、パルテム関連において増加する下水道分野の管路更生需要への対応と、防災関連の大口径システム・防災資機材の積極的な拡販活動に取り組んでおります。

②体質改善の実行

- ・財務体質の強化（ROIC導入と自己資本比率アップ）
- ・生産性・品質意識改革
- ・「芦森グループ人材Vision」に基づく人材育成

具体的な取組み

生産体制の再構築・効率化を目的として2022年7月に組織改正を実施しました。また、高い専門性と幅広い視野、論理的展開力を持った世界に通じる人材を育成するため、2022年4月に「芦森グループ人材Vision」を策定しました。また、「芦森グループ人材Vision」を含む、芦森グループの従業員が実践すべき行動倫理をまとめたガイドブック「芦森グループ従業員行動規範」を作成し、読み合わせ、ディスカッションなどを行うことにより「サークル活動」と称する行動規範の定着活動に取り組んでおります。

(2) 数値目標

(単位：百万円)

	第123期 2023/3期 計画	第124期 2024/3期 計画	第125期 2025/3期 計画
売上高	57,000	57,000	60,000
営業利益	1,250	2,000	2,700
当期純利益	1,000	1,500	2,000

2023年2月10日開示「特別損失（減損損失）の計上および繰延税金資産の取り崩しならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2023年3月期の業績は中期経営計画の目標値を上回る見通しとなっており、中期経営計画は着実に進捗していると評価しております。

3. 上場維持基準適合に向けたその他の取組み

(1) 広報・IR活動の強化

株価向上を目指し、広報・IR活動の強化に取り組んでおります。2023年3月期は個人投資家向けセミナーへの出展やオンライン会社説明会を実施いたしました。また、財務情報と非財務情報の両開示の充実を図るため、2022年10月に当社として初の統合報告書「統合レポート2022」を発行いたしました。その他、当社ホームページのリニューアルを行う等、情報発信を充実させる施策に取り組んでおります。

「統合レポート2022」につきましては、以下のURLよりご覧ください。

https://www.ashimori.co.jp/ir/library/integrated_report/

(2) サステナビリティ活動の推進

当社は、中長期的な企業価値向上のためにはサステナビリティが重要な経営課題であるという認識のもと、2021年10月22日開示「サステナビリティ委員会設置に関するお知らせ」のとおり、サステナビリティ委員会を設置しております。定期的に委員会を開催し、2023年3月期はマテリアリティの特定を行いました。また、現在、外部コンサルタントを活用し、カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ作成に取り組んでおり、内容については今後適宜開示していく予定です。

以 上